

【結果公表】

弥富市小中学校未来構想（案）に対するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

案件名	弥富市小中学校未来構想（案）		
募集期間	令和4年10月11日（火）～令和4年11月30日（水）		
担当課	教育部 学校教育課		
募集結果の概要	弥富市小中学校未来構想（案）に対する意見を募集した結果、11人の方から34件の意見が提出されました。		
意見提出数	持参	0人	0件
	郵送	0人	0件
	電子メール	10人	32件
	ファクシミリ	1人	2件
	合計	11人	34件

提出された意見と市の考え方

NO	意見・提言の概要	教育委員会の考え方
1	（小学校の統合について） 徒歩での通学が難しい場合は、スクールバスの運用を検討してほしい。	前向きに検討してまいります。
2	スクールバスは朝夕以外には、コミュニティバスとして併用活用も検討してもらいたい。	コミュニティバスとしての活用は、運航について許認可への対応が必要となり難しい面がありますが、学校行事等の有効な活用を検討してまいります。
3	（小学校の統合について） 一クラスの人数が多くなると学力に差が出てくると思うので、特に算数は補助の先生を付けて今のようなきめ細やかな指導をしてほしい。	これまで同様、補助教員を配置し、きめ細かな指導に努めてまいります。
4	（小学校の統合について） 人間関係のトラブルも増えるので、先生に相談しやすい環境をお願いしたい。	児童・保護者の心のケアのため、スクールカウンセラー等の配置や教員による相談体制を整えてまいります。

5	(中学校の統合について) 学力の低下が心配。人数が多くなると小学校同様きめ細やかな指導が難しくなると思う。	これまで同様、補助教員を配置し、きめ細かな指導に努めます。
6	(中学校の統合について) 事件の事があり、他の学区の子どもたちから色々言われなにか心配。	子どもたちには、道徳等を通し、人権や命の尊さなどについて指導しています。 また、多くの目で子どもたちを見守ってまいります。
7	(中学校の統合について) 保護者と学校の距離が遠くなるのが心配。相談しやすい環境をお願いしたい。	保護者との懇談会や、お便りなどで情報提供し、保護者と連携してまいります。
8	(再編・編入の方針について) 再編、編入に基本的に賛成。クラブ活動の科目追加し選択肢を広げたり、様々な課外プログラムの充実を図ってもらいたい。	児童、生徒、保護者等の意見を反映し魅力あるプログラムの充実を図ります。
9	(再編・編入後の新しい学校のあり方について) 具体的に目指す姿を明文化し、多くの人にその学校の特徴が見えるような施策を打ち出してほしい。	弥富市の教育目標が具現化できるよう努めてまいります。
10	小学校の具体的な再編施設はどういう計画か。	令和5年3月を目途に再編校の設置場所等についてお伝えします。
11	中学3年の時に弥富中学へ編入することになるが、多感な年頃で不安。一年生から弥富中学校へ通うことはできるか。	令和7年4月の再編としており、それまでは、十四山中学校への入学をお願いいたします。ご不安の軽減のため、スクールカウンセラーの増員や事前の交流事業を丁寧に実施してまいります。
12	中学3年生の受験生の時期の編入には反対。対象の学年に説明をしてから時期を決めてほしい。	生徒・保護者の不安を少しでも軽減するように、相談体制を整えます。また、事前の交流事業を丁寧に実施してまいります。
13	中学3年生で編入となるので、十四山中学校に入学時の制服などの支度を、弥富中学校で使用	制服等の購入については、令和6年度までは、十四山中学校指定のものをご購入して

	<p>するもので購入したい。</p>	<p>いただきますようお願いいたします。 また、入学準備をいただくものについて、できるだけ保護者負担が少なくなるよう考えてまいります。</p>
14	<p>中学3年生で編入となるが、制服はそのままか。編入が分かっている体操服などはどうか。1年しかないのに買い換えは負担。購入費用の全額補助を求める。</p>	<p>現在、3中学校は、詰襟・セーラー服です。セーラー服のストライプの本数に違いはありますが、大きな違いはありません。 再編時、制服を買い替える必要はありません。また、体操服についても、買い替えることなくそのまま使用していただけます。</p>
15	<p>中学3年生で編入となるが、年に数回だけの交流では安心する環境になるとは思えないので、一つの方法として令和5年度の中学1年生から弥富中学校の部活に入れてほしい。</p>	<p>事前交流については、令和5年度から教員や生徒の交流を始める計画です。 部活動の扱いについては、検討してまいります。</p>
16	<p>(弥富市における児童生徒数の推移について) どのような統計情報をもとに試算したものか明確でない。算定根拠となる情報を明確にしてほしい。20年間という短期の試算しかないが、20年後に再度見直しを図らないのであれば、さらに先の試算と開示をして、もう少し長期的な視点で検討すべき。</p>	<p>児童生徒数の推移については、住民基本台帳を基に民間調査会社により試算したものです。 今後も引き続き、児童生徒数推移を注視し検討してまいります。</p>
17	<p>(弥富市がめざす教育方針について) 生きる力とは何かがわからない。また、一定規模の児童生徒数の確保の他に何を行おうとしているのか、それらがどう相互的に反応し、生きる力を育めると考えられたのかを示すべき。</p>	<p>急激に変化する時代の中、教育活動において多様な考えに触れ、互いに学び合い、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する場を設けることにより、他者を価値ある存在として尊重し自分の良さや可能性を認識するとともに様々な社会的変化を乗り越え豊かな人生を切り拓くことのできる資質を育成していきます。</p>
18	<p>(小中学校の適正規模について) 学校規模の標準規模として12~18学級としているが、全小中学校において、これに対する適性度はどのように推移する試算となっているのかが示されていない。試算状況を併せて示すべき。</p>	<p>小規模中学校について、3学年3学級と少なくなり教育活動に影響が出ること、小規模小学校においては、児童数の減少にともなう1クラスの児童数が10人を下回ることを懸念</p>

		念しています。 他の学校についてはクラス数の減少もありますが、概ね現状を維持してまいります。
19	(保護者や地域の声について) どのような調査結果かが示されていない。調査対象と方法を開示すべき。	保護者や地域の声については、これまで、の意見交換会において、伺った意見を紹介したものです。
20	(保護者や地域の声について) 意見の把握に関しては数年前のアンケートのみである。現在の小学生やその保護者に説明がないまま構想が進んでいる。	これまで、PTA 役員や保育所保護者会の代表の方々と意見交換をしてまいりました。また、保護者の方々には 11/26 に説明会を行いました。加えて、年明けに地域への説明会を実施します。
21	(基本方針) 向こう何年間有効なものかが示されていない。また、定期的な見直しを行う必要があり、今後の再編等の検討に関する計画を併記すべき。学区の再編まで踏み込んだ検討はしているのか。	今後の再編計画については、児童生徒数の推移や、法改正等の要因など注視ながらより良い教育環境を整えてまいります。また、市全体の学区再編は、検討していません。
22	編入をする側、少数派の子どもたちの負担が大きく軽視されていると感じざるを得ない案である。現在の案のみでなく他の選択肢も提示してほしい。	生徒・保護者の負担の軽減を図るため、スクールカウンセラーや事前交流事業を丁寧に進めてまいります。
23	男女の偏りが出ると言う理由ならば、もう少し早い時期に再編はできないのか。	男女の偏りが複数の学年で出現することから再編の時期と考えました。
24	再編後、小学校の場所はどこか。公表はいつか。	令和5年3月を目途に進めています。
25	(小学校再編について) 保育園の保護者の意見、質問も聞いた方がよいのでは。今後の説明会の際は、保育園にも資料や開催案内を出してほしい、また小学校再編と中学校統合を分けて説明してはどうか。	検討してまいります。
26	3年前には十四山中学校編入の必要性は把握できたはずだが、示されたのが遅れたのはなぜか。	令和元年にアンケート調査を実施しました。令和3年9月以降から地域の方々のご意見を伺い、再編の必要性について検討を進め、今回、構想を公表したところです。

27	中学校再編検討部会が具体的な行動を決めるのはいつ頃が目処となるのか。	中学校再編検討委員会や作業部会は、令和5年1月から始める予定です。委員会で決まったことなどは、随時、情報を発信してまいります。
28	クラス替えが出来ない問題を重く捉えているのであれば、小学校の統合を先に進めるべきでは。	生徒数の減少に伴う教育活動への影響は、小規模小中学校に共通ですが、教員の配置や部活動への取組みへの影響などを考え、中学校を優先しました。
29	説明会の意見への返答や取組、メールへの返答、それらを踏まえた変更点や進行状況はどのように把握出来るのか。	ホームページを活用し発信してまいります。
30	統合前に年に1度でもよいから弥富市内統一テスト等を検討してほしい。先生の負担削減と平等なテスト実施を希望する。	評価については、学校間で差が出ないように調整してまいります。
31	弥富市における児童・生徒数の推移の推定根拠の記載がないが、弥富市都市計画マスタープランP17にあるような推定でも10年後の生徒数は同様になるのか。	児童生徒数の推移については、住民基本台帳を基に民間調査会社により試算したものです。 弥富市都市計画マスタープランとは同様ではございません。
32	弥富市の現状生徒数について、少数地区しか記載されておらず、全地区を表示した上で意見を聞いてほしい。今後の既存小中学校の生徒数推移も併記してほしい。	検討してまいります。
33	大規模災害時に筏川を越えての移動が可能か心配。再編編入について飛島村と蟹江町との連携も含めて検討はできないか。	どのような災害時にも児童生徒の安全を最優先に対応します。大規模災害時には、河川等危険箇所を使用しての登下校は控えます。また、近隣市町村とは、一定の範囲で相互応援に関する協定を締結しています。
34	子どもの数を維持するため、既存空き家への新規流入者の移住など人口増加対策を進める必要があるのではないか。	人口増加対策は、子育て施策等において検討してまいります。